

## アオハクガン（カモ科） 全長67センチ

大潟村に飛来する1000羽のハクガンの中に、たった1羽、体が褐色のアオハクガンが見つかった。ハクガンの亜種ではなく、突然変異で出現したものとされている。ハクガンは絶滅危惧Ⅰ-A種に指定されている希少種であることから、その中の1羽は滅多に観察されないレア物でしょうか。体が真っ白に見えるハクガンの群れのなかにいるので、体の色からすぐに発見できそうなものだが、1000羽もいると中々大変です。



風切り羽の先端が黒いのが特徴

落穂などの餌を漁っている時はみな下向きで動き回ります。やっと頭をもたげ、周囲のハクガンがまばらになった時にアオハクガンと確認されました。警戒心の強いハクガンは、近くで観察できないことは言うまでもなく、十分な距離を保っての撮影となります。そのため皆さんは高倍率の望遠鏡で探すこととなります。やっと一人のベテランが見つけてくれました。その情報を基に大体の位置を定めての撮影です。



群れの中で頭をもたげた。



頭部とお腹の一部が白い。

やっとの思いで見つけたときの感動は、それまでのイライラを吹っ飛ばしてくれました。

国内には1羽か数羽以内の希少なもので、毎年見られるものではありません。撮影できたことが不思議なくらいでした。



よく観察しないマガンやヒシクイと区別が付きません。



2014年11月25日、初めて見たときのアオハクガン。  
7年前のハクガンは100羽にも満たなかった。